

## 令和4年度第2回今金町地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日 時：令和4年7月13日（水） 午後2時00分～午後3時20分

場 所：今金町民センター 1階大ホール

出席委員：外 崎 会 長 今金町長  
勝 山 副会長 自治会町内会連合会  
辻 監 事 今金町社会福祉協議会  
久ヶ澤 監 事 今金町商工会  
天 沼 委 員 自治会町内会連合会  
酒 井 委 員 国土交通省北海道運輸局函館運輸支局  
山 本 委 員 北海道檜山振興局地域政策課  
武 田 委 員 せたな警察署（五十嵐氏代理出席）  
伊 藤 委 員 函館建設管理部今金出張所  
田 中 委 員 今金町老人クラブ連合会  
西 川 委 員 函館バス株式会社  
松 本 委 員 有限会社東ハイヤー  
岸 委 員 今金町保健福祉課  
由 浅 委 員 今金町公営施設課  
早 坂 委 員 今金町教育委員会事務局  
欠席委員：大 岩 委 員 函館地区交通運輸産業労働組合協議会  
杉 山 委 員 今金町国保病院

日本データサービス株式会社：齊藤主任技師

事 務 局：今金町まちづくり推進課 鈴木課長、佐藤課長補佐、松永主事補

### 1. 外崎秀人会長（町長）あいさつ

皆さま大変お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

本日の協議会では、今後の方向性を見出すため、委員の皆さまそれぞれの立場からご意見や確認の声をいただきたく存じます。我々市町村が果たす役割を明確にし、地域の足の確保を最優先に考えることで望ましい方向へ繋げていきたいと思っております。計画策定などでは、きちんとしたスケジュール感を持ちつつ、課題解決に向けて早め早めに取り組みたいと考えておりますので、本日はよろしく願いいたします。

### 2. 議 題

#### （0）松本委員（有限会社東ハイヤー）より

冒頭にお時間をいただきありがとうございます。去る7月6日午前8時過ぎに乙部町の国道交差点にて、弊社中型バスの不注意により軽自動車との衝突事故を起こしてしまいました。この事故により、軽自動車とバスにご乗車いただいていた皆さまにお怪我を負わせてしまうという、あってはならない事態を招いてしまいました。現在、被害にあわれた方々への対応を会社として精いっぱいさせていただいております。事故原因を追究し、再発防止に万全を期して参ります。この度は、バスへの信頼を損なう事態を招き、関係者皆さまへご迷惑をおかけいたしましたこと、大変申し訳ございませんでした。

### (1) 副会長 1 名の選出について（会長指名）要綱第 5 条第 3 項

藤川前副会長の退任に伴い、副会長が欠となっていたため、今金町地域公共交通活性化協議会設置要綱第 5 条第 3 項により、勝山委員（自治会町内会連合会）を副会長に選出。

副会長：勝山 英敏 氏

会長による指名のうえ、承認をいただきました。

### (2) 令和 3 年度事業報告及び収支決算報告・監査報告について

- 事業報告 議案に記載の通り
- 収支決算報告 議案に記載の通り
- 辻監事より監査報告

事務局説明のうえ、承認をいただきました。

### (3) 令和 4 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

- 事業計画（案） 議案に記載の通り
- 収支予算（案） 議案に記載の通り

事務局説明のうえ、承認をいただきました。

### (4) 今金地域公共交通計画における施策について

（説明者：日本データサービス株式会社 齊藤主任技師）

#### ◆ルンるん号運行エリアの拡大

鈴岡・神丘の西部地区は、公共交通が運行していない「公共交通空白地域」となっているため、既存で運行しているルンるん号の利用状況に応じたエリア拡大を検討。年間でほとんど利用者のない日進地区を隣接している八束・白石地区と統合することで運転者・車輛の確保によるエリア拡大の可能性を見出す。

#### ◆既存バス路線のバイパス道路運行に伴う代替交通

所要時間短縮及び運行経費の効率化に向け道道 936 号線運行区間の廃止を検討。国道 230 号へ運行路線を転換し、それにより代替交通手段を確保することが求められる。また、中里地域の限られた箇所をタクシーの低廉化、区域運行のような形にすることでカバー率の上昇が期待される。

## 【質疑・応答・意見交流】

### ・ ルンるん号運行エリアの拡大について

- (天沼委員) 神丘地区は地域自体が高齢化しており、自分自身が地域住民ということもあり念願のルンるん号の運行ではあるが、運行しているにも関わらず利用されないという事態は回避したい。運行数と利用者数が比例するよう、利用促進のための周知やニーズ募集等も行って頂きたい。
- (外崎会長) 地域住民からの生の声を頂くことはとても貴重なことである。具体的な方向性を見出すため、地域との協議は必要と考えておりますので、頂いた意見をもとに進めて参りたい。
- (早坂委員) 神丘地区の運行エリア拡大にあたって、現在運行している福祉バスの実績に基づいて今後の検討を進めてはどうか。八束・金原・豊田地区についても、もともと福祉バスが運行していたが、ルンるん号へ移行するため見直しをした結果、廃止とした経緯がある。福祉バスとルンるん号の併用は厳しいため、どちらか1つにしぼって考えていただきたい。
- (鈴木課長) 事務局側も早坂委員のご意見と同じイメージを持っている。併用というのは現実的にはならないと考えており、ルンるん号へ移行した場合は料金が発生することになるため、福祉バスを利用している方にもご理解をいただけるよう、過去と同様な取組をしていかなければならないと感じている。
- (斉藤主任技師) 実績については事務局から情報提供としてデータをいただいて抑えている。運行するに当たって、運行経費にも繋がってくるため、時間帯や便数をしっかりと定め、サービス水準を決めていきたい。

### ・ 既存バス路線のバイパス道路運行に伴う代替交通

- (酒井委員) バイパス運行に切り替えると、乗換が必要になることから、東ハイヤーと函館バス双方との協議を踏まえ、乗換対策を行う必要がある。
- (外崎会長) 長万部方面については、美利河地区を乗換拠点にしながら進めるのが望ましいと考えている。長万部方面との接続は新幹線の開通も含め、重要なことと考える。
- (鈴木課長) 東ハイヤーと函館バスとの事前協議も行い、代替交通の具体性を立てていくことが必要である。現時点では具体案を持ち合わせていないため、方向性の合意をもらいつつ、研究を重ねることで提案をさせていただきたい。
- (酒井委員) タクシーの低廉化について、補助制度としては存在しているが全国的な取組事例が少ない状況であるため、似たような事例も含め、今後も継続して情報提供をさせていただく。

・交通事業者からの意見（東ハイヤー・函館バス）

（松本委員）福祉バスは目的限定のため、複数目的を果たすことができる形態へのニーズは存在しており、ルンるん号を利用していただいた方からは非常に好評をいただいている。利用者一人ひとりへの対応は時間を要してしまうため、効率化や時間短縮に向けた改善が必要である。

（西川委員）神丘地区からバス停までの距離が長いため、徒歩での移動は非常に困難と考える。冬期間なども想定すると、エリア拡大に係る取組は必要ではないか。また、待合所についても、ルンるん号の乗降を含め、今金ターミナルが交通の結節点となるようさらに活用していただきたい。

### 3. その他

#### ○由浅委員より（情報提供）

町道田代通線の田代橋が長寿命化修繕工事のため、令和4年7月末もしくは8月頃から令和5年2月末までを目途に通行止めとなります。なお、令和4年から令和9年の期間で半年ごとに通行止めとなりますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

#### ○事務局より（次回協議会の開催について）

令和4年度第3回協議会の開催時期は11月中旬頃を予定しております。協議内容につきましては、本町の計画の策定に係り、本日協議しました二本柱を含めた計画全体の素案をお示しさせていただければと思いますので、引き続きご意見を賜りますようお願い申し上げます。

### 4. 閉 会

（外崎会長）今回の協議会では計画の策定に向け、核となる重要な部分を協議し、提案をさせていただきました。頂いた意見をもとに、地域をもって計画を位置付け、実現・実行へと進めていきたいと考えておりますので、それぞれ異なる立場からお気付きの点がございましたらご意見やご提案をいただければと思います。本日は貴重なお時間を頂きまして誠にありがとうございました。

以 上